

宮川水系河川整備計画の点検

説明資料

平成30年10月29日

国土交通省 中部地方整備局
三重河川国道事務所

目 次

1. 河川整備計画の概要	
1) 河川整備計画の目標	1
2) 河川整備基本方針・河川整備計画の流量配分	2
2. 事業を巡る社会情勢等の変化	
1) 人口や世帯数等の流域内の状況変化	3
2) 水防災意識社会 再構築ビジョン	4
3) 宮川における近年の出水状況 平成29年10月 台風第21号	5
3. 河川整備計画の整備（治水）メニュー	
1) 河川整備計画の整備メニュー（河川整備計画策定時）	9
2) 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組 ハード対策	10
3) 整備メニューの追加 危機管理型ハード対策	11
4) 整備メニューの追加 内水対策	12
5) 整備メニューの追加 勢田川の特殊堤防整備	13
6) 河川整備計画の整備メニュー	14
4. 整備の進捗状況	15
5. 今後の整備の進め方	
1) 実施予定箇所	17
2) 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組 住民目線のソフト対策	18
6. 宮川水系における利水に関する取組	19
7. 宮川水系における環境に関する取組	20
8. 宮川水系における維持管理に関する取組	25
9. 河川整備計画内容の点検結果	26

1. 河川整備計画の概要

1) 河川整備計画の目標

宮川水系河川整備計画で定めた以下の治水・利水・環境に関する目標の達成に向け、河川整備を実施します。

治水: 洪水、津波、高潮等による災害発生の防止又は軽減

- ◆戦後2番目の洪水(宮川は平成16年9月洪水、勢田川は昭和57年8月洪水)と同規模に対して家屋等の浸水被害の防止を図ります。
- ◆昭和34年9月に発生した伊勢湾台風と同規模の台風が再来しても、高潮による災害の発生の防止を図ります。
- ◆整備計画規模を上回る洪水が発生した場合、整備途上で施設能力以上の洪水・高潮が発生した場合、さらに、大規模地震直後に津波・洪水・高潮に見舞われた場合に、その被害が軽減できるよう、危機管理対策を実施します。

利水: 河川水の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

- ◆水利用実態を考慮し、景観や動植物の生息・生育・繁殖・環境等の保全に努め、水利権の適正な見直し等により、河川水の適正な利用を図るとともに、関係機関と調整・連携して、合理的な水利用の推進や既存施設の有効活用の検討を進めます。これにより、流水の正常な機能を維持するために必要な流量の一部を回復するように努めます。

河川環境: 河川環境の整備と保全

- ◆多様な動植物の生息・生育・繁殖環境や良質な水質の保全を図ります。
- ◆既存の良好な景観について、治水との整合を図りながら維持形成を図り、保全に努めます。
- ◆親水施設を通じて地域と連携し、良好なまちと水辺が融合した空間形成の円滑な推進を図り、歴史や文化にまつわる空間の保全を図ります。

維持管理

- ◆宮川の河川特性を踏まえた河川維持管理計画を作成し、河川の状況の監視・点検によって分析評価することで、適切な維持管理に努めます。

1. 河川整備計画の概要

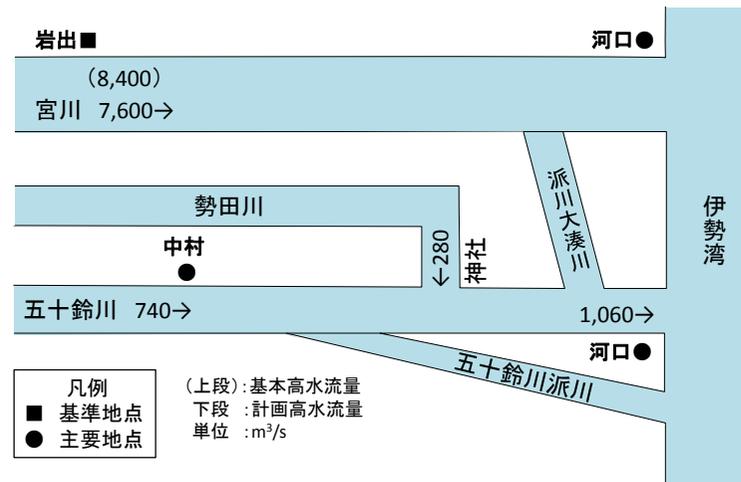
2) 河川整備基本方針・河川整備計画の流量配分

河川整備基本方針では、宮川の基準地点：岩出における基本高水流量のピーク流量8,400m³/sとし、このうち、洪水調節施設等により800m³/sを調節することで計画高水流量のピーク流量を7,600m³/sとしました。

河川整備計画の整備目標流量は、岩出地点において7,800m³/sとし、このうち、洪水調節施設等により500m³/sを調節して河道整備流量※を7,300m³/sとしました。

河川整備基本方針(平成19年11月策定)

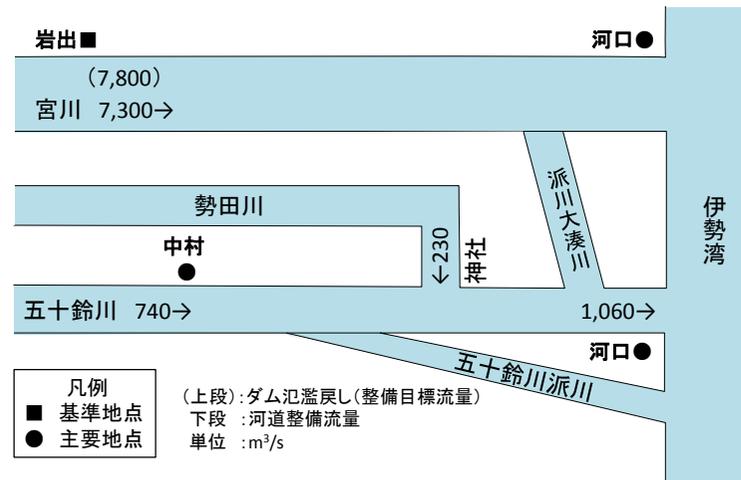
河川名	基準地点	基本高水のピーク流量 (m ³ /s)	洪水調節施設等による洪水調節量 (m ³ /s)	計画高水のピーク流量 (m ³ /s)	備考
宮川	岩出	8,400	800	7,600	



河川整備計画(平成27年11月策定)

河川名	基準地点	整備目標流量 (m ³ /s)	洪水調節施設等による洪水調節量 (m ³ /s)	河道整備流量※(m ³ /s)	備考
宮川	岩出	7,800	500	7,300	平成16年9月洪水

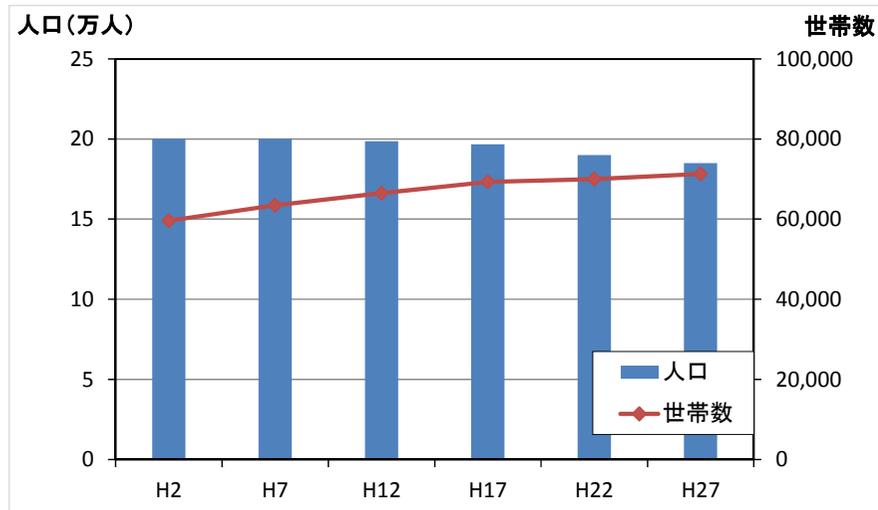
※河道の整備に対応する流量



2. 事業を巡る社会経済情勢等の変化

1) 人口や世帯数等の流域内の状況変化

近年、宮川流域市町村の人口はやや減少していますが、世帯数は増加しています。
 また、流域の下流部に広がる伊勢平野には、伊勢自動車道、一般国道23号、近鉄山田線、JR参宮線等のこの地方の根幹をなす交通網の拠点があります。
 伊勢神宮をはじめとした歴史的、文化的資産が多く存在し、今後も観光地として期待されている地域です。



関連市町の人口・世帯数の変遷

出典：国勢調査

流域市町村

- ・伊勢市 (旧二見町、旧小俣町、旧御園村含む)
- ・玉城町
- ・多気町 (旧勢和村含む)
- ・度会町
- ・大紀町 (旧大宮町、旧紀勢町、旧大内山村)
- ・大台町 (旧宮川村含む)



伊勢神宮内宮
(宇治橋)

2. 事業を巡る社会経済情勢等の変化

2) 水防災意識社会 再構築ビジョン

関東・東北豪雨を踏まえ、新たに「**水防災意識社会 再構築ビジョン**」として、全ての直轄河川とその沿河市町村(109水系、730市町村)において、平成32年度目途に水防災意識社会を再構築する取組を行います。

<ソフト対策> 住民が自らリスクを察知し主体的に避難できるよう、より実効性のある「**住民目線のソフト対策**」へ転換します。

<ハード対策> 「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」に加え、氾濫が発生した場合にも被害を軽減する「**危機管理型ハード対策**」を導入し、平成32年度を目途に実施します。

主な対策

各地域において、河川管理者・都道府県・市町村等からなる協議会等を新たに設置して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に推進する。

<危機管理型ハード対策>

- 越水等が発生した場合でも決壊までの時間を少しでも引き延ばすよう堤防構造を工夫する対策の推進

<被害軽減を図るための堤防構造の工夫(対策例)>

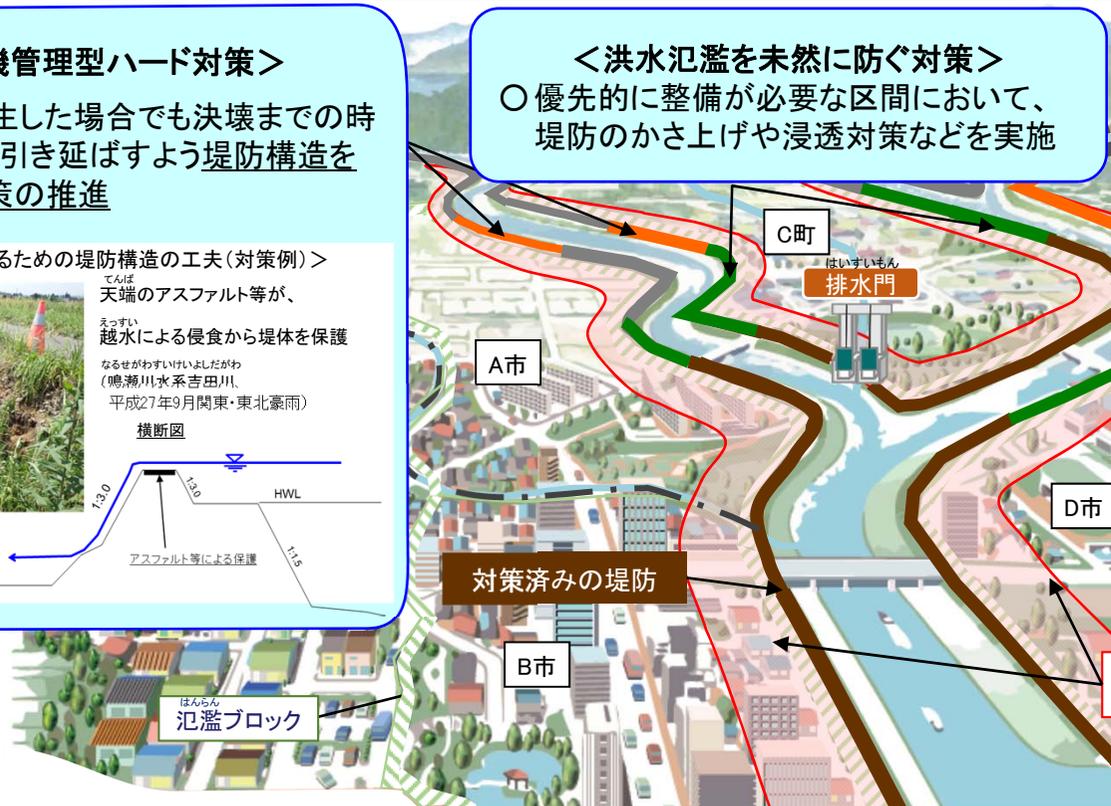


<洪水氾濫を未然に防ぐ対策>

- 優先的に整備が必要な区間において、堤防のかさ上げや浸透対策などを実施

<住民目線のソフト対策>

- 住民等の行動につながるリスク情報の周知
 - ・立ち退き避難が必要な家屋倒壊等氾濫想定区域等の公表
 - ・住民のとるべき行動を分かりやすく示したハザードマップへの改良
 - ・不動産関連事業者への説明会の開催
- 事前の行動計画作成、訓練の促進
 - ・タイムラインの策定
- 避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで提供
 - ・水位計やライブカメラの設置
 - ・スマホ等によるプッシュ型の洪水予報等の提供



家屋倒壊等氾濫想定区域※

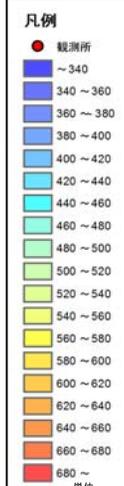
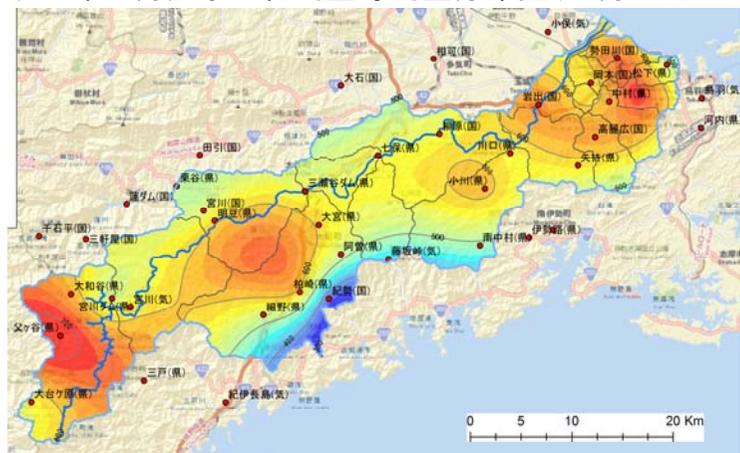
※ 家屋の倒壊・流失をもたらすような堤防決壊に伴う激しい氾濫流や河岸侵食が発生することが想定される区域

2. 事業を巡る社会経済情勢等の変化

3) 宮川における近年の出水状況 平成29年10月 台風第21号

近年洪水で最も流量が大きかった平成29年10月洪水は、宮川では既往3番目の流量となり、整備計画目標流量と同規模の流量でした。

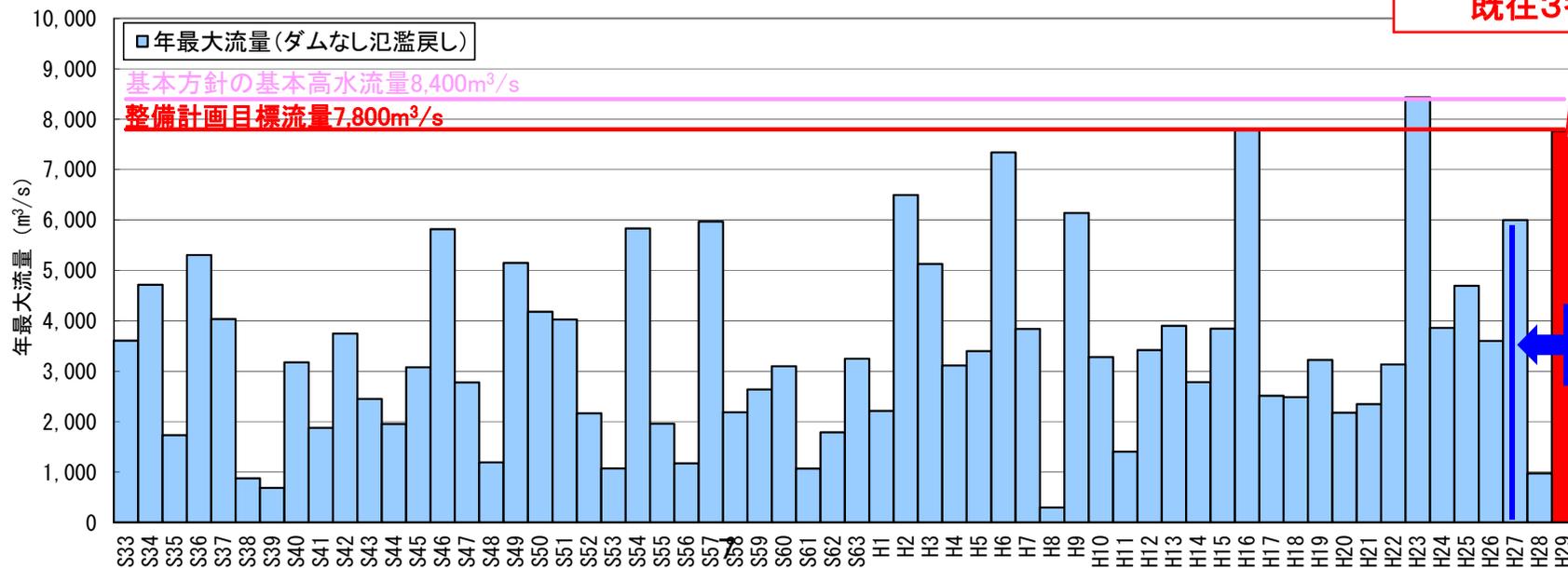
◆平成29年10月洪水の総雨量等雨量分布図(10月21日～23日)



◆岩出水位観測所付近の状況(ピーク水位時点)



◆宮川岩出地点 年最大流量(ダム氾濫戻し)

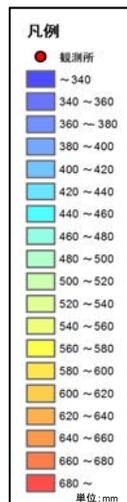


2. 事業を巡る社会経済情勢等の変化

3) 宮川における近年の出水状況 平成29年10月 台風第21号

平成29年10月洪水は、勢田川流域では累積雨量は600mmを超え、主要洪水である昭和49年7月や昭和57年8月と同等の時間最大雨量80mm/hを記録しました。昭和49年以降2番目の流量となり、整備計画目標流量を上回りました。

◆平成29年10月洪水の総雨量等雨量分布図(勢田川流域) ◆雨量規模
(10月21日～23日)



平成29年10月
台風第21号の雨量

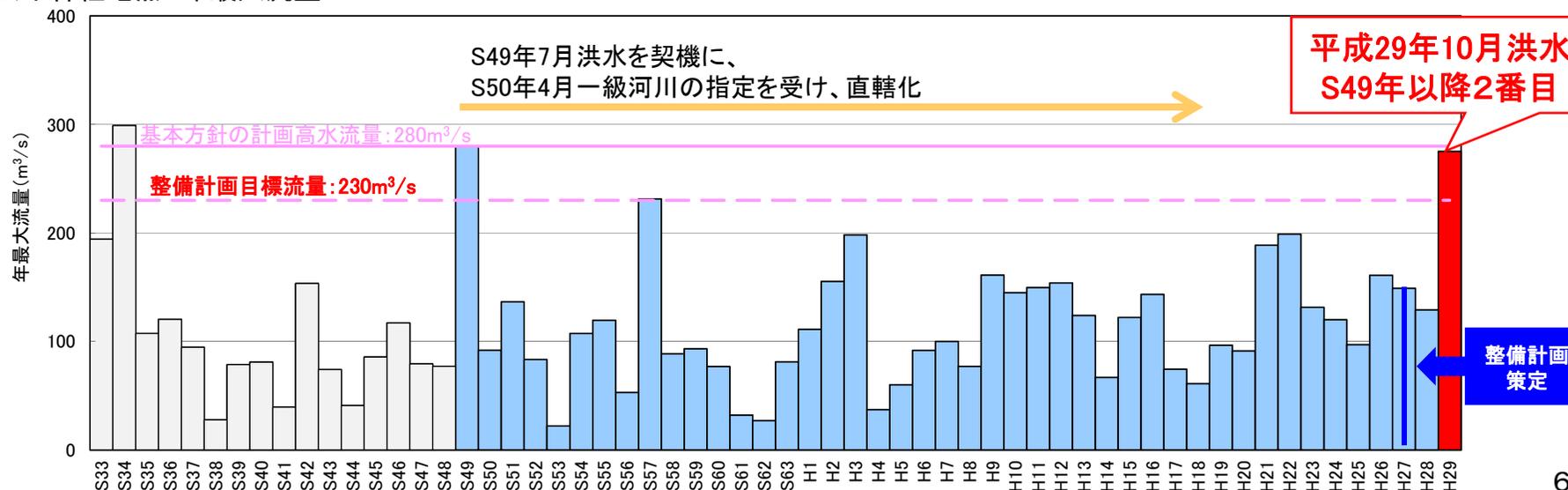
主要洪水

- ①昭和49年7月7日
【七夕災害】
- ②昭和57年8月1日～2日

雨量観測所	累積雨量	時間最大雨量
勢田川	665mm	80mm/h
岡本	584mm	67mm/h
県伊勢庁舎	623mm	71mm/h

雨量観測所	累積雨量	時間最大雨量
①伊勢土木事務所	495.6mm	65.6mm/h
②岡本	320mm	88mm/h

◆勢田川 神社地点 年最大流量



2. 事業を巡る社会経済情勢等の変化

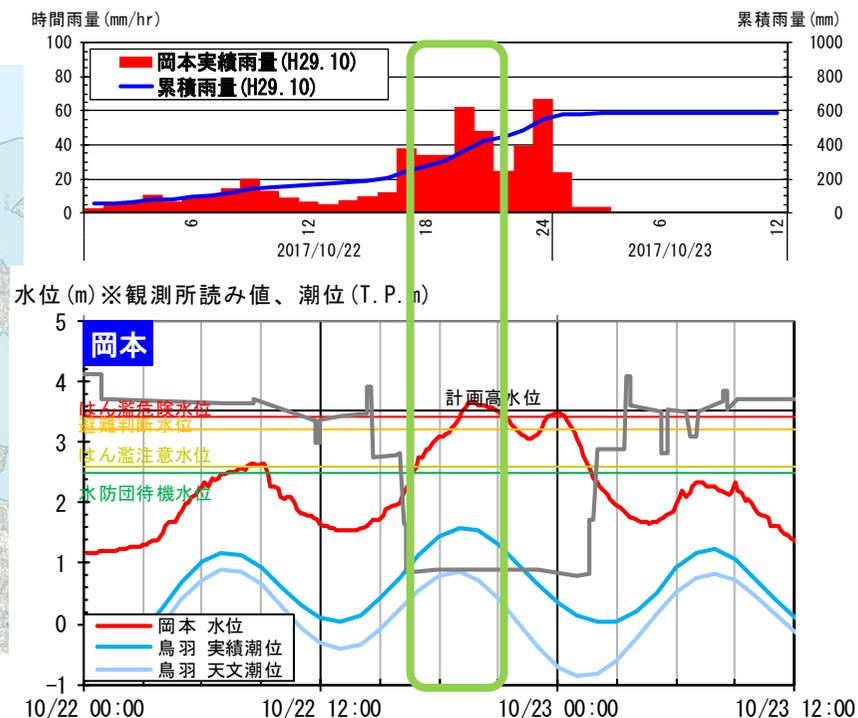
3) 宮川における近年の出水状況 平成29年10月 台風第21号

勢田川では、満潮と台風による高潮、大雨が重なった影響もあり、計画高水位を超過しました。

▼観測所等位置図



▼雨量と水位、潮位



水系名	河川名	観測所名	今回※1 最高水位	水防団 待機水位	氾濫 注意水位	出動水位	避難 判断水位	氾濫 危険水位	計画 高水位
宮川水系	勢田川	おかもと 岡本	10/22 19:40 3.69	2.50	2.60	2.90	3.20	3.40	3.52 3.69

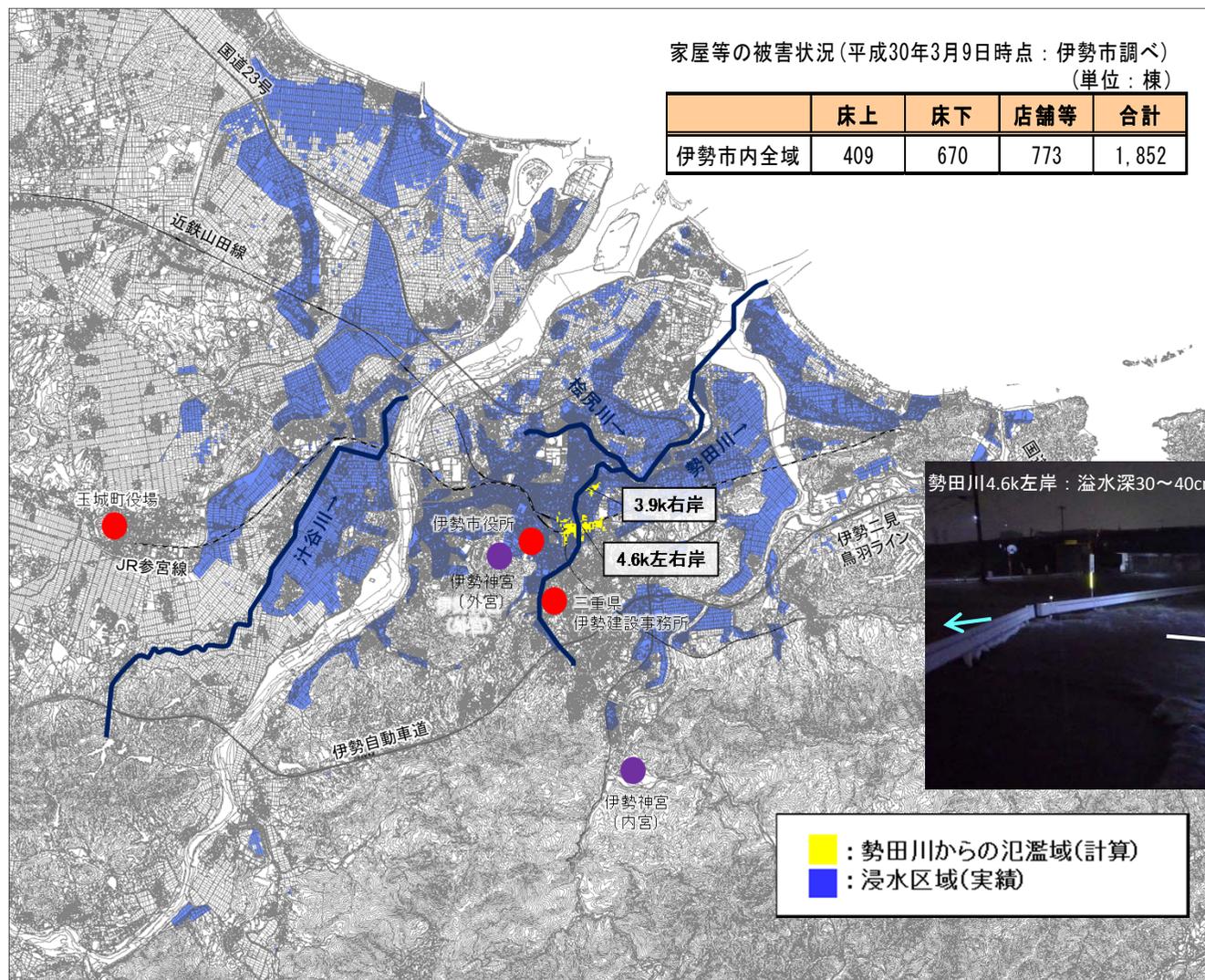
※1 今回最高水位は速報値(10分単位)

※速報値であるため、数値が変わる場合があります

2. 事業を巡る社会経済情勢等の変化

3) 宮川における近年の出水状況 平成29年10月 台風第21号

台風第21号により、降った雨が排水できずに冠水した内水氾濫が主な要因となって、伊勢市内で甚大な浸水被害が発生しました。勢田川の掘込河道区間の2箇所から溢水が生じました。



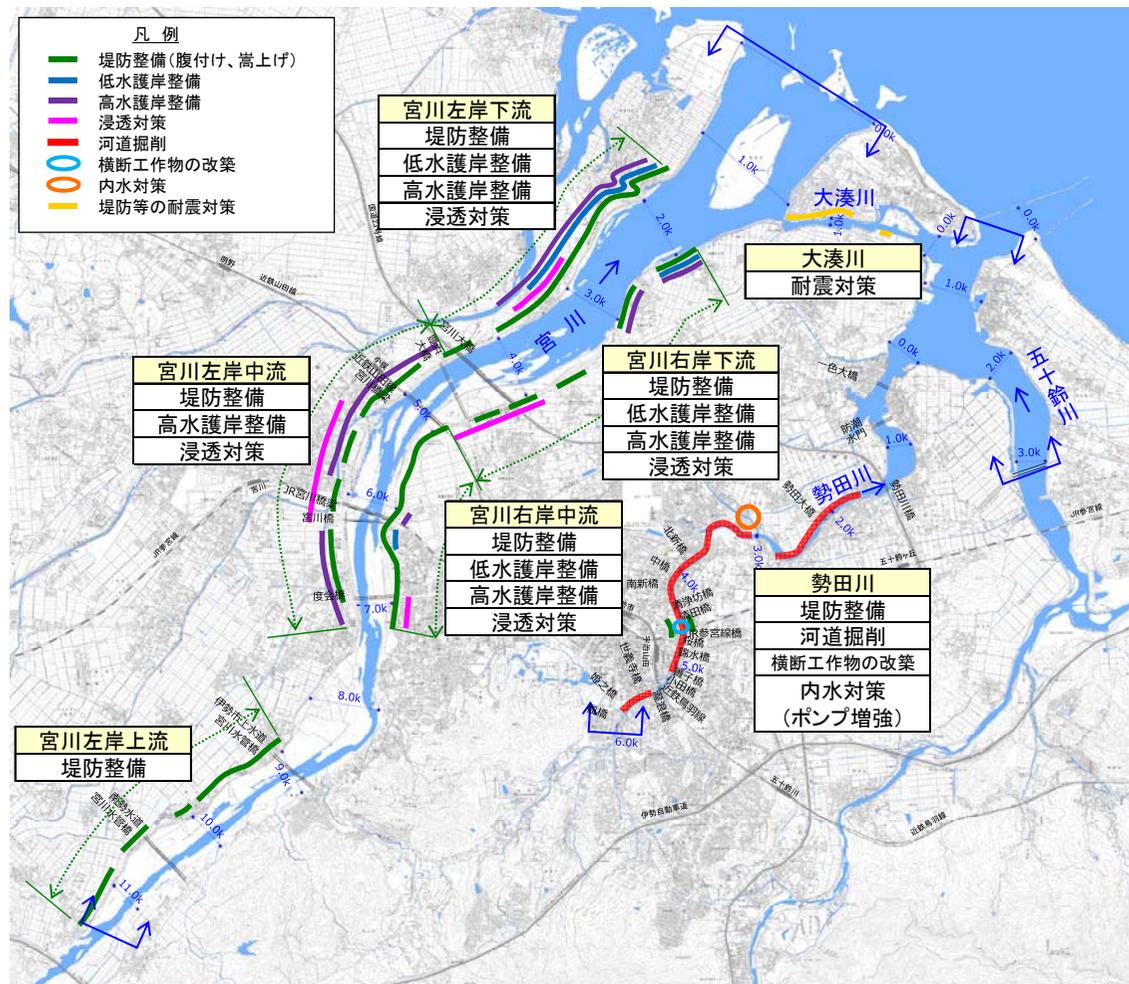
3. 河川整備計画の整備（治水）メニュー

1) 河川整備計画の整備メニュー（河川整備計画策定時）

河川整備計画（平成27年策定）に位置づけられている、概ね30年間で実施する主な整備内容は以下のとおりです。

▼河川整備計画での主な整備内容

河川名	整備内容	
宮川	堤防整備 (腹付け、嵩上げ)	11.1km
	低水護岸整備	2.4km
	高水護岸整備	5.9km
勢田川	堤防整備	0.4km
	河道掘削	79千m ³
	横断工作物の改築	1橋
	内水対策 (桧尻川排水機場増強)	1施設
大湊川	堤防等の耐震対策	1.1km



3. 河川整備計画の整備（治水）メニュー

2) 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組 ハード対策

平成27年9月関東・東北豪雨を踏まえ、水防災意識社会を再構築する取組として、平成28年度より河川管理者、三重県、沿川自治体からなる協議会を新たに設置して減災のための目標を共有し、ハード・ソフト対策を一体的・計画的に行っています。

越水が発生した場合でも被害を軽減する「危機管理型ハード対策」は整備が完了し、「洪水氾濫を未然に防ぐ対策」は、平成32年度を目途に実施します。

洪水氾濫を未然に防ぐ対策



宮川 3.2k付近左岸

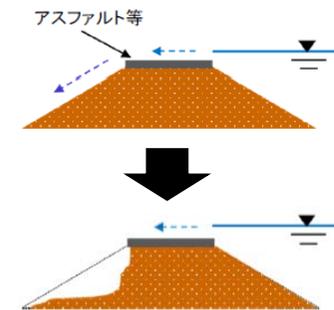


宮川 7.2k付近右岸

危機管理型ハード対策

<堤防天端の保護>

堤防天端を保護し、堤防への雨水の浸透を抑制するとともに、越水時の法肩部の進行を遅らせる。



宮川4.4k付近左岸

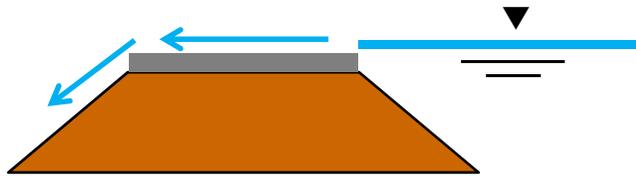
※洪水氾濫を未然に防ぐ対策は現行整備メニューに含まれています。

3. 河川整備計画の整備（治水）メニュー

3) 整備メニューの追加 危機管理型ハード対策

危機管理型ハード対策として、天端保護工を全体延長として、0.07km実施しました。

	実施区間
天端保護工	0.07km



堤防の天端を保護（舗装）し、法肩部の崩壊の進行を遅らせることにより、決壊までの時間を少しでも延ばす



宮川4.4k付近左岸



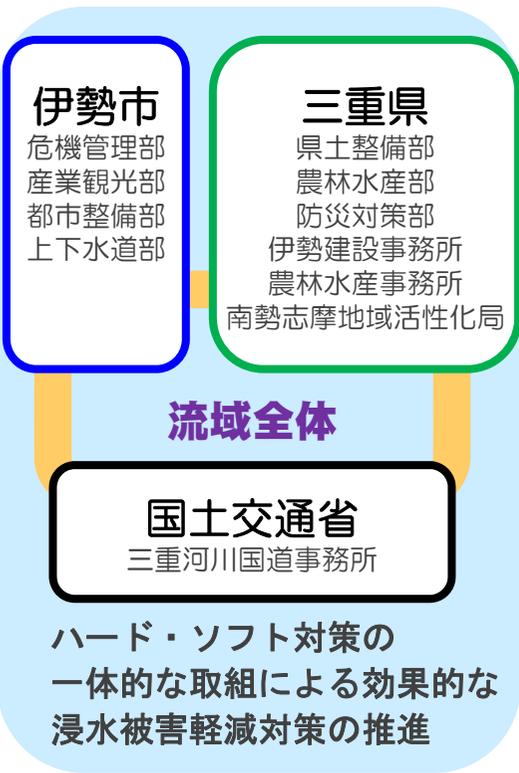
3. 河川整備計画の整備（治水）メニュー

4) 整備メニューの追加 内水対策

流域全体で、関係機関（伊勢市・三重県・国土交通省）が浸水被害軽減に向けた取組を実施するために「勢田川流域等浸水対策協議会」を平成30年1月に設立し、より効果的な対策を一体的に進めるための「勢田川流域等浸水対策実行計画」を平成30年6月に策定しました。

国土交通省は、短期整備として、宮川水系河川整備計画の整備メニューである勢田川の堤防整備や河道掘削、椀尻川排水機場ポンプ増強などを実施してまいります。平成30年度度台風期までに危機管理型水位計の設置や緊急的な堤防嵩上げを完了させ、現在、堤防整備や河道掘削を実施しています。

今後、平成29年10月台風第21号洪水を契機に、宮川水系河川整備計画の見直しの検討を行い、中長期整備は、見直し後の河川整備計画を踏まえて実施していく予定です。



【平成30年10月現在】
■ 実施済み
■ H30年度末まで完成
■ 実施中・今後実施

区分	カテゴリ	No.	対象河川(流域)	内容	事業主体	実施する目標期間	
						短期計画 (今後5年程度)	中長期計画 (今後20~30年程度)
ハード対策	河川整備	1	勢田川	緊急的な堤防かさ上げ	国土交通省		
		2	勢田川	河道掘削	国土交通省		
		3	勢田川	勢田川排水機場ポンプ増強	国土交通省		
		4	勢田川	逆流防止フラップ弁設置	伊勢市		
		5	椀尻川	椀尻川排水機場ポンプ増強	国土交通省		
		6	椀尻川(指定区間)	河道掘削	三重県		
		7	椀尻川(指定区間)	河川整備	三重県		
		8	椀尻川(準用河川)	河川整備	伊勢市		
ハード対策	雨水排水	9	勢田川・椀尻川流域	下水道整備	伊勢市		整備計画策定 3排水区整備を集中的に先行実施 黒瀬ポンプ場ポンプ増強
		10	勢田川・椀尻川流域	流域における総合治水対策	国土交通省 三重県・伊勢市		
ソフト対策		11	勢田川	危機管理型水位計の設置	国土交通省		
		12	勢田川(指定区間・準用河川)	危機管理型水位計の設置	三重県 伊勢市		
		13	勢田川流域	洪水浸水想定区域の指定・公表	国土交通省		
		14	勢田川(指定区間)流域	洪水浸水想定区域図の作成	三重県		
		15	勢田川流域	洪水浸水想定区域の説明会の実施	国土交通省 伊勢市		
		16	椀尻川(準用河川)	危機管理型水位計の設置	伊勢市		
		17	椀尻川流域	洪水浸水想定区域図の作成	三重県		
		18	椀尻川流域	洪水浸水想定区域の説明会の実施	三重県 伊勢市		
		19	勢田川・椀尻川流域	ハザードマップの更新	伊勢市		H29年度更新 (勢田川流域、H29年10月浸水実績)
		20	勢田川・椀尻川流域	防災啓発体制の強化	伊勢市		
		21	勢田川・椀尻川流域	伊勢市防災大学の開催	伊勢市		
22	勢田川・椀尻川流域	伊勢市防災コーディネーターの認定	伊勢市				
23	勢田川・椀尻川流域	防災教育の強化	国土交通省 三重県・伊勢市				

3. 河川整備計画の整備（治水）メニュー

5) 整備メニューの追加 勢田川の特殊堤整備

勢田川北新橋下流右岸とJR参宮線付近からの溢水防止のため、緊急的に約60cm程度の嵩上げを実施しました。溢水防止のため、特殊堤防（コンクリートの小型重力式擁壁）を設置しました。

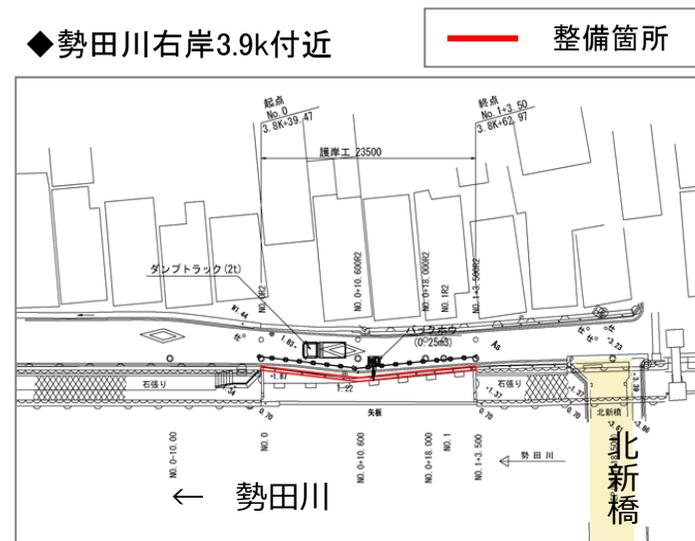
◆ 勢田川右岸3.9k付近



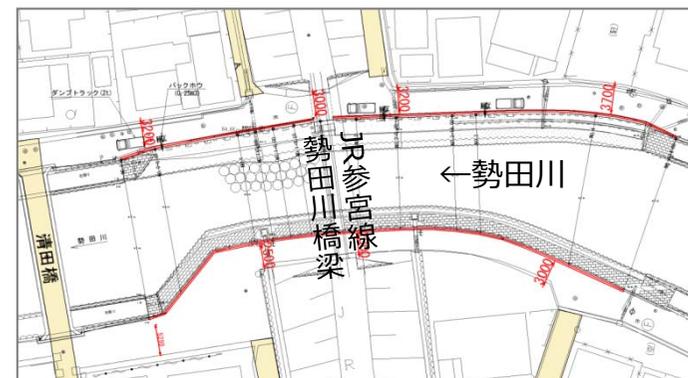
◆ 勢田川左右岸4.6k付近



◆ 勢田川右岸3.9k付近



◆ 勢田川左右岸4.6k付近



3. 河川整備計画の整備（治水）メニュー

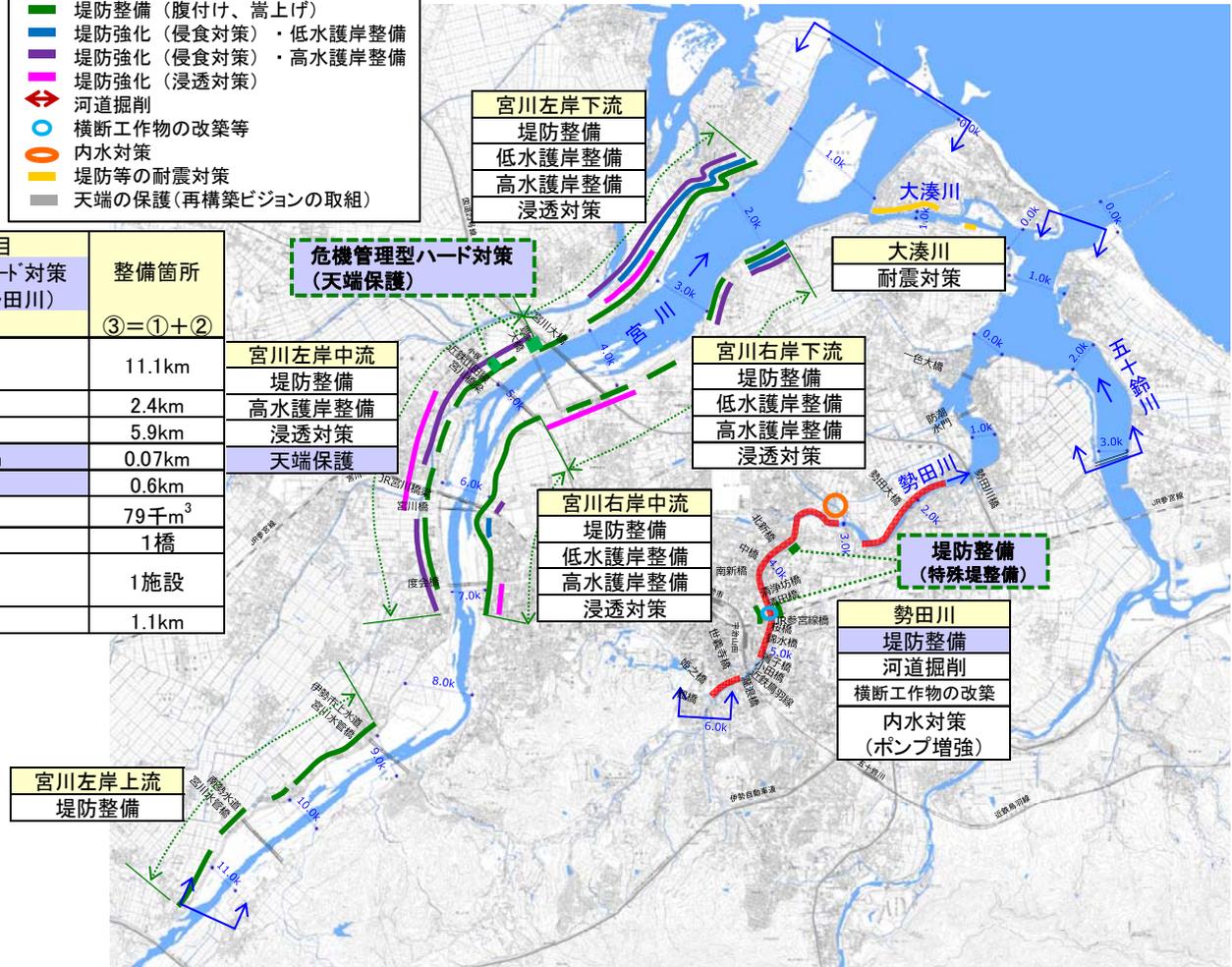
6) 河川整備計画の整備メニュー

平成27年11月に策定した「宮川水系河川整備計画」、及び「水防災意識社会 再構築ビジョン」の取組と勢田川の緊急対策(特殊堤整備)を、概ね30年間で段階的に整備を進めていきます。

河川整備計画の主な整備内容

河川名	整備項目	整備計画 全体事業①	追加項目	
			危機管理型ハード対策 堤防整備(勢田川) ②	整備箇所 ③=①+②
宮川	堤防整備 (腹付け、嵩上げ)	11.1km		11.1km
	低水護岸整備	2.4km		2.4km
	高水護岸整備	5.9km		5.9km
	天端保護	—	0.07km	0.07km
勢田川	堤防整備	0.4km	0.2km	0.6km
	河道掘削	79千m ³		79千m ³
	横断工作物の改築	1橋		1橋
	内水対策 (ポンプ増強)	1施設		1施設
大湊川	堤防等の耐震対策	1.1km		1.1km

- 凡例
- 堤防整備 (腹付け、嵩上げ)
 - 堤防強化 (侵食対策)・低水護岸整備
 - 堤防強化 (侵食対策)・高水護岸整備
 - 堤防強化 (浸透対策)
 - ↔ 河道掘削
 - 横断工作物の改築等
 - 内水対策
 - 堤防等の耐震対策
 - 天端の保護(再構築ビジョンの取組)



4. 整備の進捗状況

整備目標流量を安全に流下させるため、堤防整備、護岸整備、河道掘削を重点的に進めています。

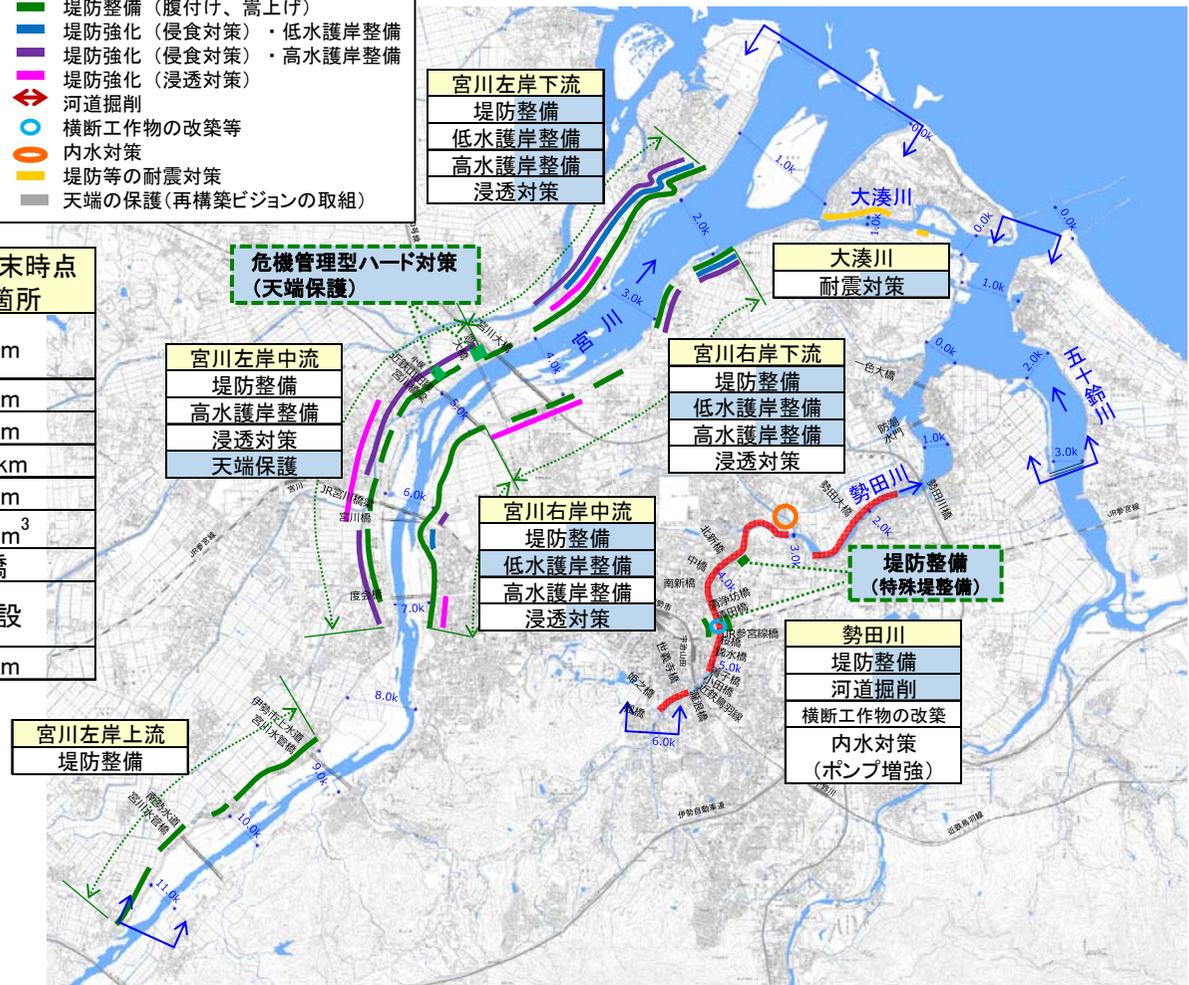
【事業進捗状況図】

- 凡例
- 堤防整備（腹付け、嵩上げ）
 - 堤防強化（侵食対策）・低水護岸整備
 - 堤防強化（侵食対策）・高水護岸整備
 - 堤防強化（浸透対策）
 - 河道掘削
 - 横断工作物の改築等
 - 内水対策
 - 堤防等の耐震対策
 - 天端の保護（再構築ビジョンの取組）

河川名	整備項目	整備箇所	H30年度末時点 実施箇所
宮川	堤防整備 (腹付け、嵩上げ)	11.1km	2.2km
	低水護岸整備	2.4km	1.2km
	高水護岸整備	5.9km	0.9km
	天端保護	0.07km	0.07km
勢田川	堤防整備	0.6km	0.2km
	河道掘削	79千m ³	26千m ³
	横断工作物の改築	1橋	0橋
	内水対策 (桧尻川排水機場増強)	1施設	0施設
大湊川	堤防等の耐震対策	1.1km	0.2km

凡例

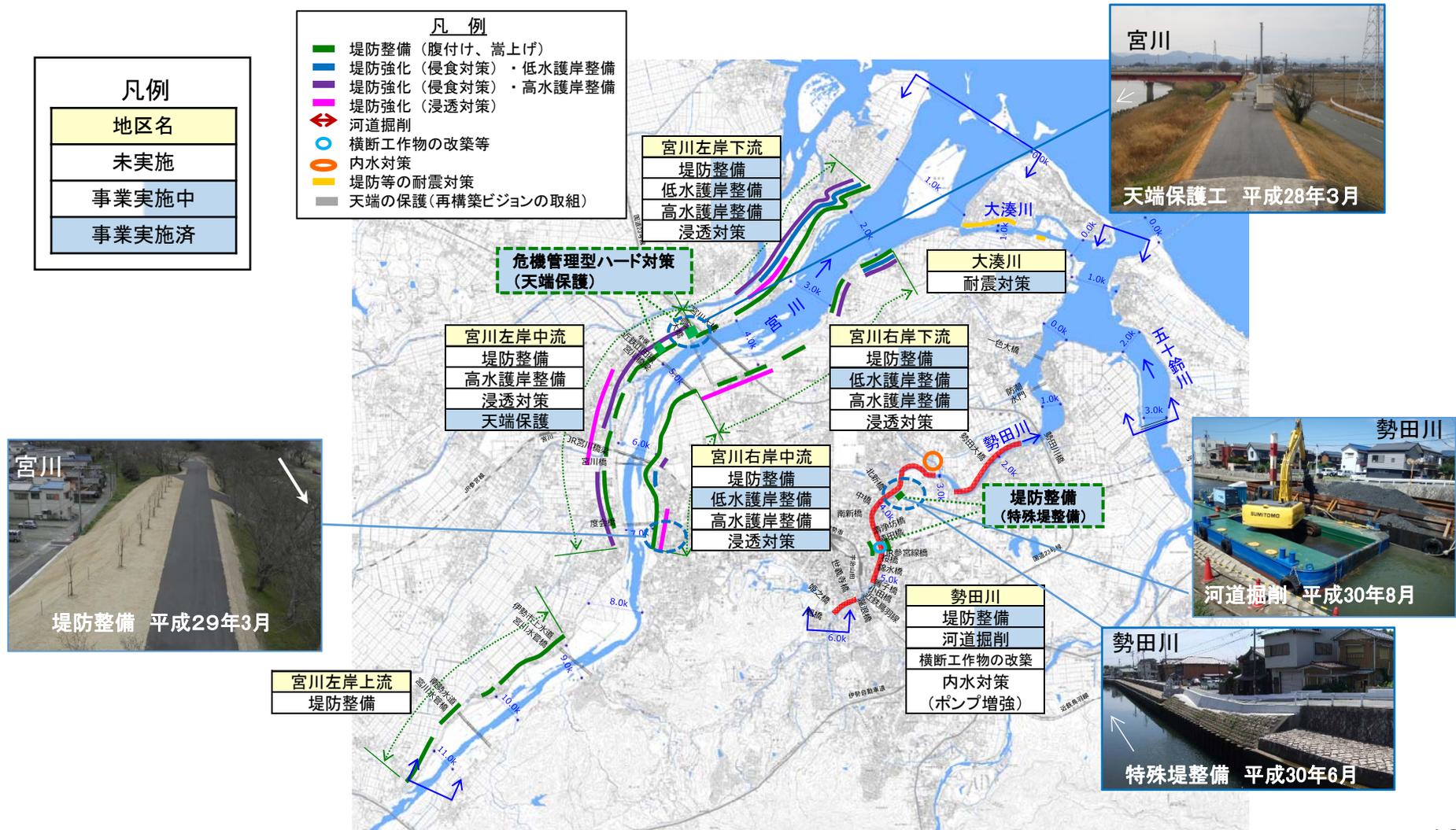
地区名
未実施
事業実施中
事業実施済



4. 整備の進捗状況

平成27年度より堤防整備、平成28年度より危機管理型ハード対策(天端保護)等を実施しました。

平成29年10月台風第21号による「勢田川流域等浸水対策実行計画」に基づいて、勢田川の堤防整備や河道掘削を実施しています。

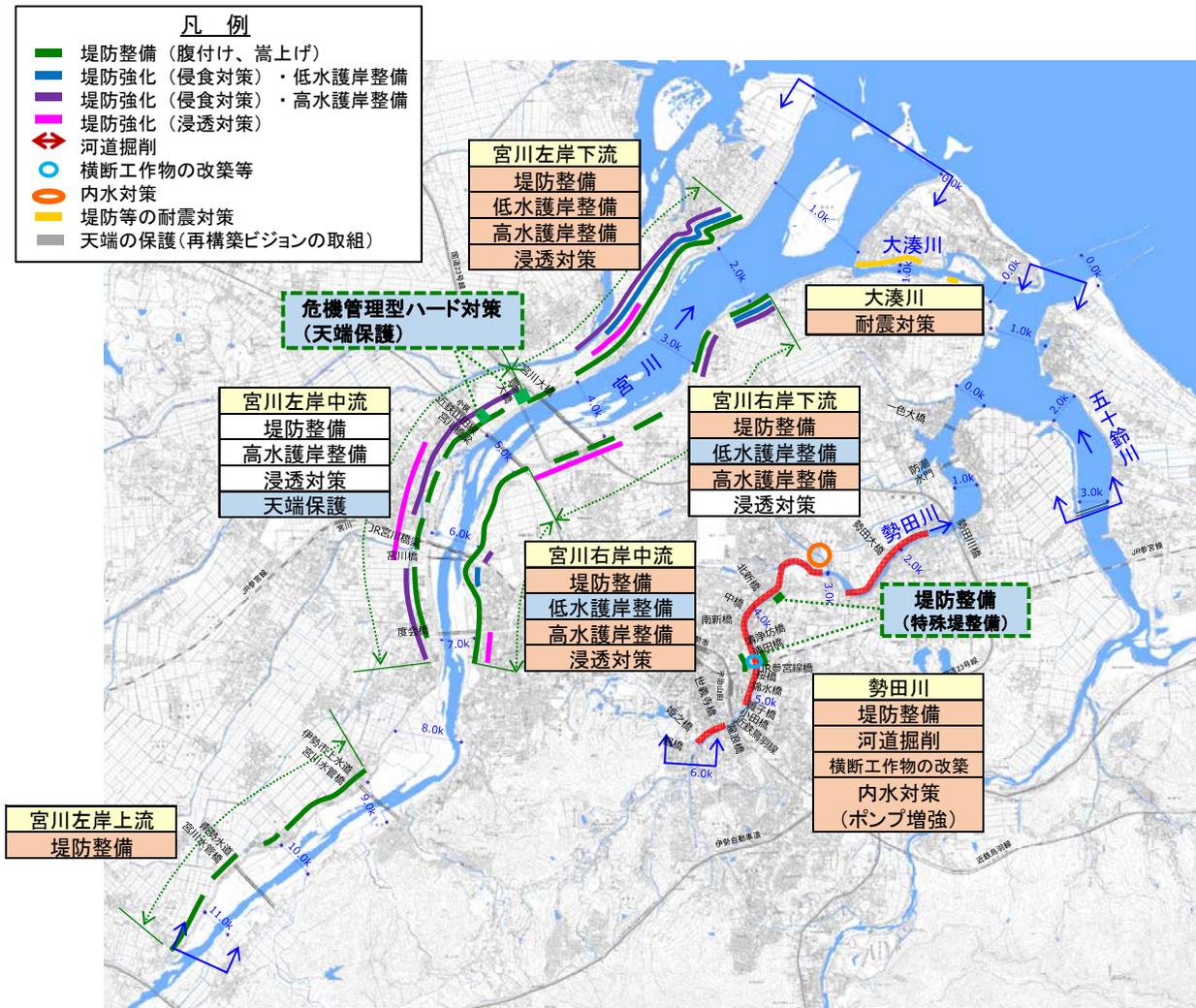


5. 今後の整備の進め方

1) 実施予定箇所

引き続き、堤防整備、河道掘削、護岸整備等を関係機関と十分な連携・調整を図りながら実施していきます。

凡例	
地区名	
未実施	
実施中 当面5年以内に実施予定	
事業実施済	



5. 今後の進め方

2) 水防災意識社会 再構築ビジョンの取組 住民目線のソフト対策

住民目線のソフト対策として、「リスク情報の周知」、「事前の行動計画・訓練」、「避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで提供」を関係機関と連携し、継続して実施していきます。

リスク情報の周知

- ◆宮川 想定最大規模の降雨を対象とした洪水浸水想定区域図の公表【国】(平成28年12月15日:宮川)

→ 洪水ハザードマップの作成【関係市町】

浸水深図以外に、立ち退き避難が必要な「家屋倒壊等氾濫想定区域図」や「浸水継続時間」の図面を新たに作成

- ・洪水浸水想定区域図【想定最大規模】【計画規模】
- ・洪水浸水想定区域図【浸水継続時間】
- ・家屋倒壊等氾濫想定区域図【氾濫流】【河岸侵食】

- ◆勢田川 水位周知河川としての運用 (平成29年6月1日)

水害リスク情報等の共有による確実な避難の確保のために、水位周知河川として運用
避難行動を促す基準水位を設定し、洪水浸水想定区域図を作成(平成29年6月2日)

- ◆洪水浸水想定区域図の説明会

宮川 (平成29年5月)、勢田川(平成30年3月)に、伊勢市と共同で実施



宮川水系宮川洪水浸水想定区域図(想定最大規模)

事前の行動計画・訓練

- ◆避難に着目したタイムラインの作成(平成29年度出水期前に策定済み)

- ◆要配慮者利用施設における避難確保計画の策定及び訓練の実施の支援

水害や土砂災害に対して適切な避難行動がとれるよう、要配慮者利用施設の管理者を対象に、防災気象情報や河川情報の意味、利用者の安全確保等に関する説明会を県内4箇所を実施し、611施設が参加(平成29年2月~3月)

- ◆被害軽減のために関係機関が連携した水防訓練・共同点検・排水ポンプ車等の操作訓練の実施(毎年)

- ◆緊急速報メールの配信訓練(平成30年6月8日)(伊勢市立豊浜西小学校 全校生徒142人参加)

避難行動のきっかけとなる情報をリアルタイムで提供

- ◆洪水に対してリスクが高い区間において量水標の設置(平成28年度)

- ◆プッシュ型の洪水予報等の配信開始(平成30年5月1日~)

- ◆勢田川において低コストの危機管理型水位計を設置し、「川の水位情報(危機管理型水位計)」にて水位を公開

- ◆「川の防災情報」のリニューアル(平成28年3月28日)

市町周辺の水位、雨量、レーダー雨量、河川沿いカメラ映像、洪水浸水想定区域図について確認可能

GPS機能を活用し、現在位置周辺や河川の水位などの情報を迅速に把握できるスマートフォン用のサイトが新設



勢田川左岸5.8k付近

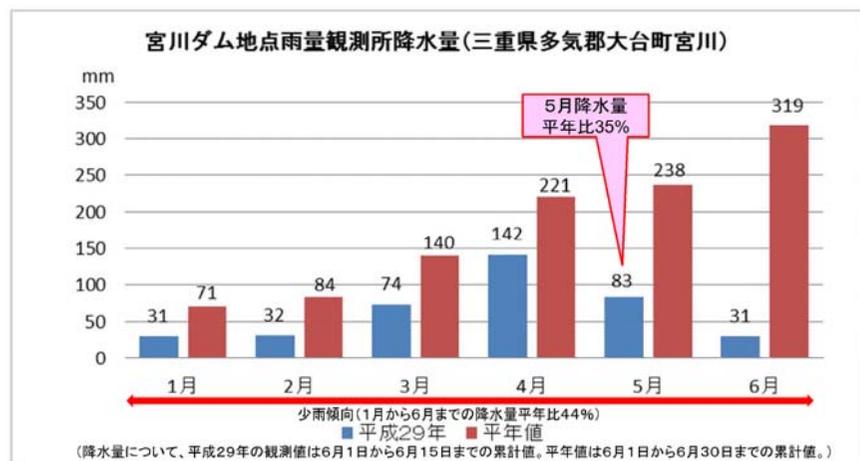


6. 宮川水系における利水に関する取組 平成28年度～平成30年度 渇水対策支部の設置状況

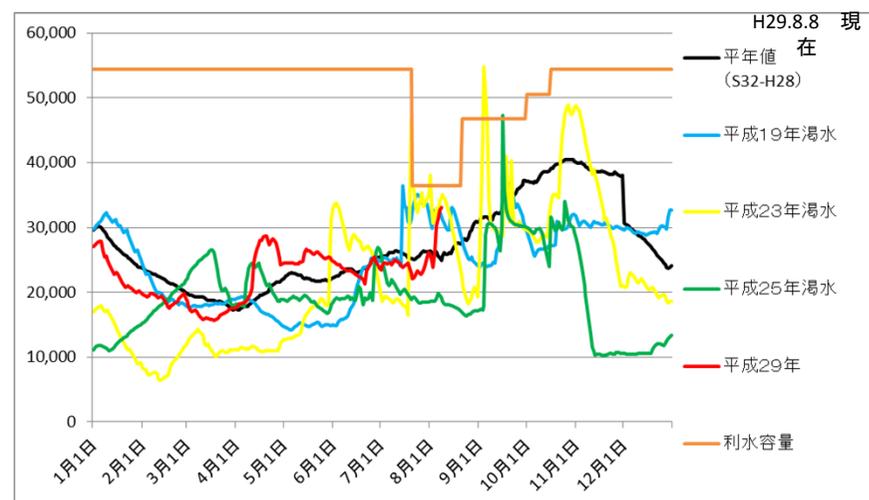
平成29年度、宮川流域では平成29年5月の降水量が平年に比べ約35%しかなく、河川の流量が少ない状態が続
き、水利使用が困難となるおそれがあったため、平成29年6月16日に「宮川水系渇水対策支部」を設置し、河川の監視
を強化しました。その後、降雨によりダム貯水量及び河川の流況が改善されたことから、8月9日に同支部を解散しま
した。

平成28年度及び平成30年度(平成30年8月31日現在)については、「宮川水系渇水対策支部」の設置はありませ
んでした。

◆宮川上流域の雨量状況(H29)



◆宮川ダムの貯水容量図(H29)



7. 宮川水系における環境に関する取組 水生生物調査による水質簡易調査

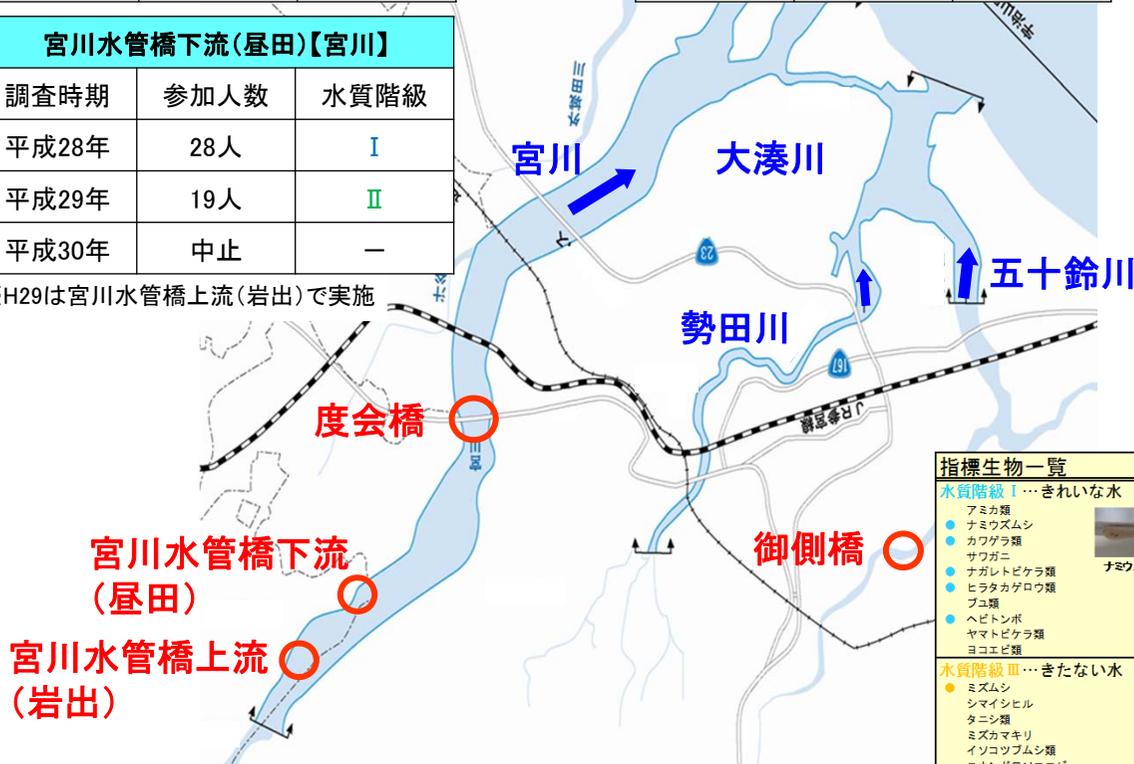
川の水質保全の重要性や河川愛護の関心等を深めるために「水生生物調査」を実施しています。参加者が川に入って、水生生物を採取・同定し、水質状態を確認しました。平成28年～平成30年の宮川における調査は、3地点、9団体、延べ272名の参加で実施しました。

度会橋【宮川】		
調査時期	参加人数	水質階級
平成28年	68人	Ⅱ
平成29年	56人	Ⅱ
平成30年	59人	(屋内)

御側橋【五十鈴川】		
調査時期	参加人数	水質階級
平成28年	19人	I
平成29年	13人	I
平成30年	10人	(屋内)

宮川水管橋下流(屋田)【宮川】		
調査時期	参加人数	水質階級
平成28年	28人	I
平成29年	19人	Ⅱ
平成30年	中止	—

※H29は宮川水管橋上流(岩出)で実施

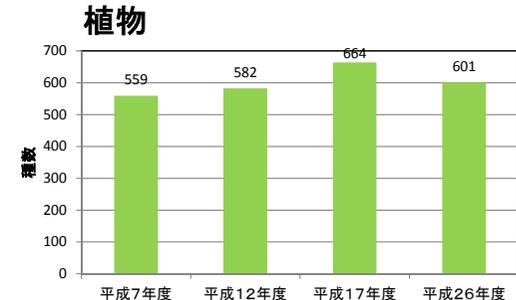
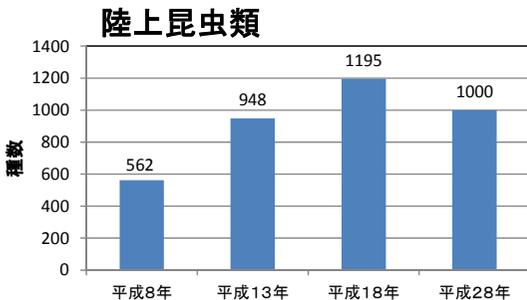
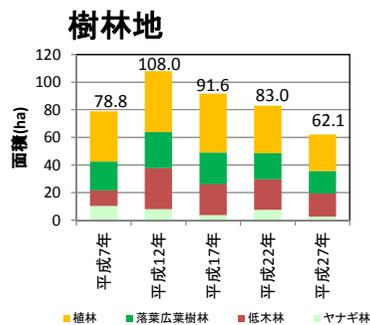
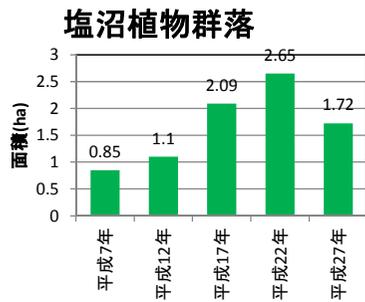
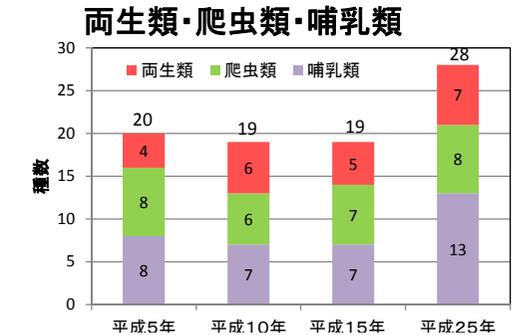
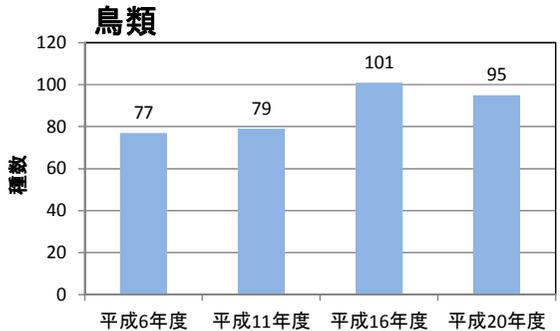
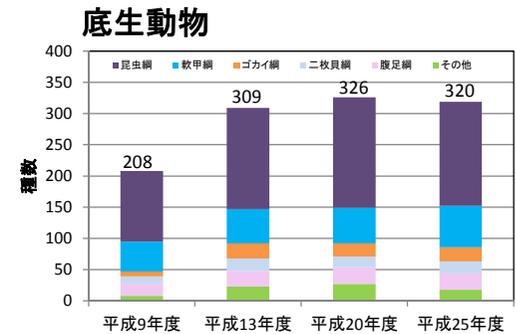
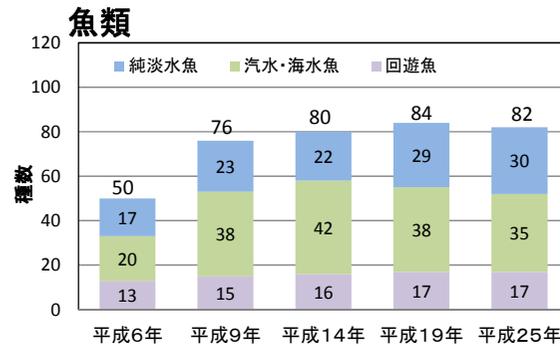
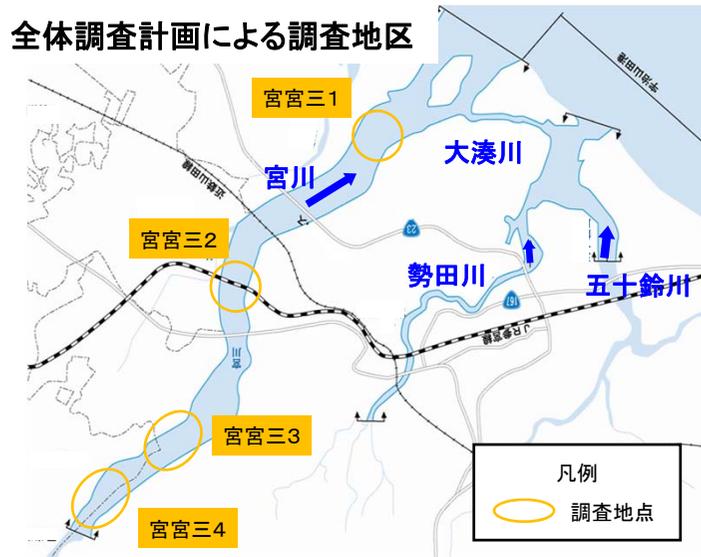


確認された指標生物 (H28～H30)

指標生物一覧		●●●●●宮川で採取した指標生物	
水質階級Ⅰ…きれいな水 ● アミカ類 ● ナミウズムシ ● カワガエリ類 ● カワガエリ ● ナガレトビケラ類 ● ヒラタカゲロウ類 ● フユ類 ● ヘビトンボ ● ヤマトビケラ類 ● ヨコエビ類		水質階級Ⅱ…ややきれいな水 ● オオシマトビケラ ● カワニナ類 ● ゲンジボタル ● コオニヤンマ ● コガタシマトビケラ類 ● ヒラタドロムシ類 ● イシマキガイ ● ヤマトシジミ	
水質階級Ⅲ…きたない水 ● ミズムシ ● シマイシヒル ● タニシ類 ● ミズカマキリ ● イソコブムシ類 ● ニホンドロソコエビ		水質階級Ⅳ…とてもきたない水 ● アメリカザリガニ ● エラミズズ ● サカマキガイ ● ユスリカ類 ● チョウバエ類	

7. 宮川水系における環境に関する取組 水辺現地調査の実施及び種数の経年推移

生物の確認種数は、近年は概ね増加傾向にあります。
植物群落は、河口部に特徴的な塩沼植物群落は平成22年まで増加傾向でしたが、平成27年に減少しています。
樹林面積は、近年減少傾向にあります。



主な植物群落の面積変化(宮川本川)

水辺現地調査における確認種数の推移

7. 宮川水系における環境に関する取組 外来種の確認状況

生態系等に悪影響を与えるものとして指定されている特定外来生物は、宮川では近年確認種が増加しています。特に、魚類については個体数が平成19年に増加しています。

植物群落については、外来植物群落の面積比率は5%程度で、三重四国では低い比率となっています。最も面積の大きい外来植物群落であるセイタカアワダチソウ群落の面積変化を見ると、近年は減少傾向にあります。

特定外来生物の確認状況

		平成6年	平成9年	平成14年	平成19年	平成25年
魚類	カダヤシ					●
	ブルーギル	●	●		●	●
	オオクチバス		●	●	●	●

		平成5年	平成10年	平成15年	平成25年
両生類	ウシガエル	●		●	●

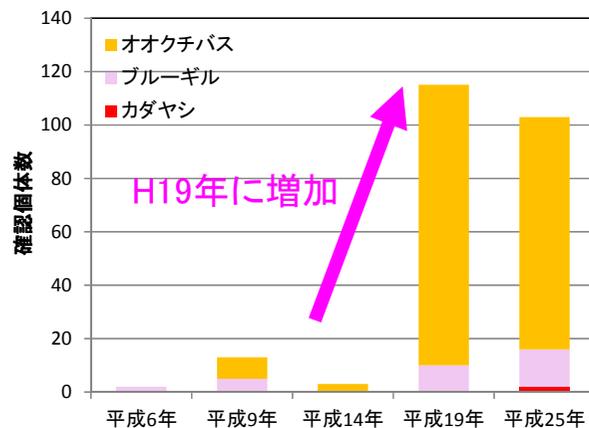
		平成7年度	平成12年度	平成17年度	平成26年度
植物	オオキンケイギク				●



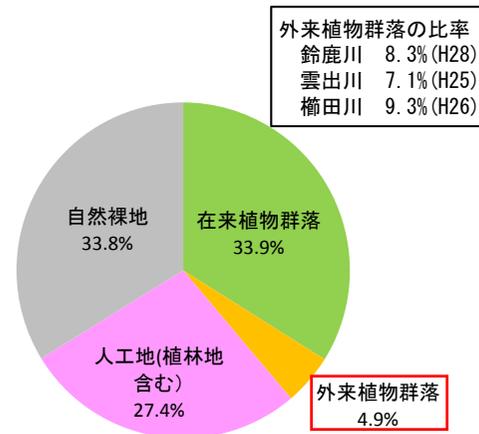
オオクチバス



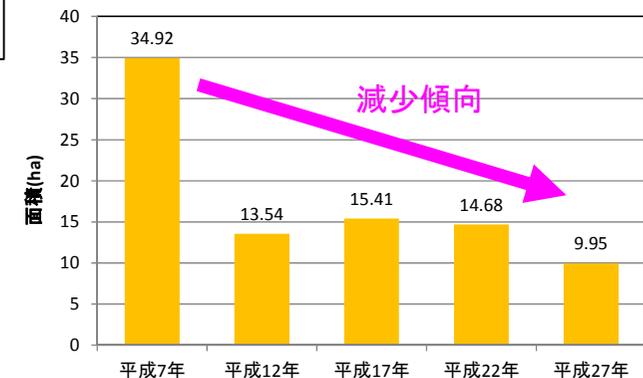
カダヤシ



特定外来生物(魚類)の
確認個体数の推移



植物群落の面積比率(H27)
(宮川本川)



外来植物(セイタカアワダチソウ群落)の
面積の推移(宮川本川)

7. 宮川水系における環境に関する取組 伊勢地区かわまちづくり

かわまちづくりの整備により利用が促進されています。
宮川や勢田川沿川では古くから伊勢神宮との歴史的・文化的なつながりが強く、地域では古い町並みの保存や文化の伝承など、いくつかの取組を実施しています。



神宮奉納全国花火大会 (川端地区)



木造船「みずき」運行による
舟参宮の再現(川の駅「河崎」)



河崎 青空カフェ (H29年10月)

8. 宮川水系における維持管理に関する取組

河川維持管理は、河川巡視・点検により状況把握を行い、維持管理対策を実施します。得られた知見を分析・評価して、河川維持管理計画に反映するというサイクルの体系を構築しています。

維持管理



堤防除草



出水期前点検



重要水防箇所の合同巡視

治水

河川の巡視・点検・調査
河道の維持管理
河川管理施設等の点検・維持管理
危機管理対策

利水

流量等のモニタリング
渇水時の対応等(水利用の調整)

河川環境

河川空間の保全と利用
水難事故の防止
不法占用・不法行為等の防止
住民参加と地域連携による川づくり

流木処理

漂着した流木を多気バイオパワー(木質バイオマス発電所)で処理
→コスト縮減・資源の有効活用

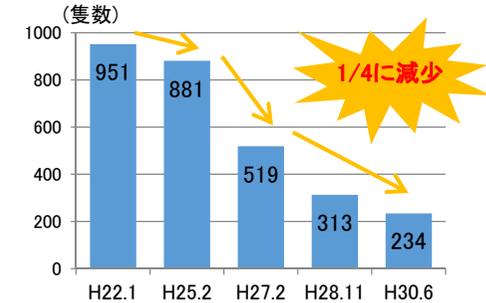


宮川へ漂着した流木



木質バイオマス発電所「多気バイオパワー」

勢田川等水面利用対策協議会 (不法係留船対策)



協議会設立後の不法係留船舶数の推移



宮川渇水調整協議会



安全な河川敷地利用連絡協議会
(水難事故対策)

9. 河川整備計画内容の点検結果

「水防災意識社会 再構築ビジョンの取組」や「勢田川流域等浸水対策実行計画」の浸水対策、及び、現河川整備計画に基づき、河川整備を実施していきます。

また、社会情勢等の変化や全国的に広い範囲で記録的な大雨による浸水被害等を踏まえて、河川整備計画の見直しも視野に入れて、具体的な対策に向けた検討を進めていきます。

社会情勢等の変化

- ◆関東・東北豪雨による甚大な被害等を踏まえ、水防災意識社会 再構築ビジョンの取組に基づいた防災・減災に関するハード・ソフト対策が求められています。
- ◆流域内の人口はやや減少していますが、世帯数は増加しています。
- ◆河川整備計画策定(平成27年11月)以降、宮川では整備目標流量を超える洪水は発生していませんが、勢田川においては整備目標流量を超える洪水が平成29年10月に発生し、内水氾濫を主要因とした浸水被害が生じました。

河川整備の進捗・実施状況

宮川水系河川整備計画は、平成27年11月に策定され、約3年経過しています。社会情勢の変化状況を確認し、整備計画の進捗状況について点検を実施しました。

◆治水に関する河川整備

「水防災意識社会 再構築ビジョンの取組」を加えて、同計画に定めている治水に関する河川整備を実施しております。
「勢田川流域等浸水対策実行計画」に基づき、勢田川において緊急対応(パラペット整備、河道掘削)を実施しております。また、中長期対策に向けて検討を進めています。

◆利水に関する河川整備

河川水の適正な利用を図るとともに、関係市町と調整・連携して、同計画に定めている利水に関する河川整備を実施しております。

◆河川環境に関する河川整備

河川水辺の国勢調査の結果を踏まえ、地域住民や関係機関等と連携し、同計画に定めている河川環境に関する河川整備を実施しております。

◆維持管理に関する河川整備

「水防災意識社会 再構築ビジョンの取組」を加えて、同計画に定めている維持管理に関する河川整備を実施しております。